



北海道立野付牛中学校
北海道立北見中学校
北海道立北見高等学校
北海道立北見北斗高等学校

東京とどの実

(発行)
東京とどの実会事務局
〒160-0022
東京都新宿区新宿1-10-2
(渡辺ビル6F)
株式会社 ウィズネットインフォメーション内
Tel 03(6659)4381
Fax 03(5379)0913

東京を訪ねて (第2回) 寛永寺から谷中へ

6月16日(土) JR山手線鶯谷駅南口12時30分。予報とは裏腹な快晴は嬉しいが、暑い！早速手分けして水分補給のためのミネラルウォーター、お茶等を買いに走る。一人当たり2本のボトルを手に総勢21人で出発。打ち合わせ通り、生駒(47期)が先導、前田さん(40期)に殿(しんがり)を、吉見さん(56期)にはカメラマンを務めていただくことにする。



JR鶯谷駅に元気に集合

左手に緑豊かな東京国立博物館の庭園、右手に寛永寺霊園の壁を見ながら歩く。文化財の宝庫、東京国立博物館は裏から見ても情緒がある。右手1か所壁が途切れ、頑丈そうな鉄柵越しに真新しい、修復されたばかりと思しい唐風の門が見える。立札を見ると「家綱霊廟勅額門」とある。「家綱」と言えば徳川四代将軍、ここは徳川家の墓所でもある。



徳川慶喜公の墓

家綱霊廟勅額門

まず寛永寺境内で一休み。10分くらいしか歩いていないのに木陰に入るとホッとします。根本中堂を背に集合写真を撮ってから出発。道路一本隔てた先が谷中霊園。桜の名所であるが、今は初夏、広々とした緑の中の古びた墓石の列が時代を感じさせる。最後の将軍、徳川慶喜公の墓所はそこにあった。周囲を

鉄柵で囲ってあるものの、「第15代将軍」という称号からは想像できかねる地味なお墓であった。



根本中堂を背に集合写真

住宅街の中の曲がりくねった道沿いに歩く。部活帰りの中学生の集団とすれ違う。下町っぽくなってきた。賑やかな通りに出ると、レトロなデザインのバスが走っている。「台東区循環バス東西めぐりん」といって、観光客向けに自治体が走らせているバスである。「下町風俗資料館(旧吉田屋酒店)」に立ち寄り。明治時代の酒屋の建物を移築したもので、当時使われていた秤、樽、杓等が展示されている。ここで近所のお菓子屋で仕入れた大福餅を食べる。美味い。どうやら「歴史散策に大福はつきものである」というのが、とどの実の校訓になりつつある!?ようだ。足元に落ちた白粉を水で洗いきれから次へ向かう。



江戸時代、谷中は幕府の都市計画によって多くの寺院が集められ、門前町として発展したそう。常在寺、長安寺、安立寺等々、由緒ある寺が並び、観音寺の築地塀(土塀)のあたりでは時代劇のセットに紛れ込んでしまったようだ。狩野芳崖、下村観山、山岡鉄舟等々、江戸～明治期の多くの著名人がこの辺りに眠ってい

るようである。全生庵の観音様にお参りして有名・無名の先人達の功績を偲んだ。



観音寺の築地塀

全生庵の観音様

歩き始めてから1時間半少々経った。疲れてしまっは本末転倒、余興の意味がない、ということで、東京メトロ千駄木駅。最年長の仁木さん(12期)他、半数くらいの参加者がここで散策を終了し、地下鉄とJRを乗り継いで池袋の会場に向かうことになった。お別れに記念写真を撮り、会場での再会を約束して別れた。残された者たちは「よみせ通り」から「谷中銀座」を歩く。駄菓子屋や豆腐屋、酒屋、食堂、写真館、店先でラムネを売る休み処が軒を連ね下町情緒満点。一杯やりながら時間をつぶしたいところだが、ビールは総会までお預け。「夕焼けだんだん」で有名になった石段を登り野良猫の相手をした後、裏道に入って岡倉天心旧宅跡へ。今は立派な記念公園になっていた。同じ道に戻るとJR日暮里駅はすぐそこ。山手線で6駅目の池袋で降り、無事百数十人の参加者達でざわめく会場に到着した。共に歩き、語らい、一つのことを同時に目にする、同じ音を聞く、という共通体験が「とどの実」の結束をより強固なものにする、とまでは行かなくとも、再確認するためのきっかけにはなるのではないかと、強行遠足を2度だけ走った僕は思います。(47期 生駒 記)



半田会長

37期 半田会長の挨拶

故郷北見は新北見市となり1年強過ぎましたが、10月31日にはきたみ東急デパートの閉鎖が決定したりしてあまり明るい話題がありません。北見北斗高校は昨年から金山校長に変わりましたが、情報提供に熱心な先生で東京に居ても学校の事が良く分かります、今年度の新入生は240名・6クラスで1クラス減りました、卒業生は就職3名で47名の浪人は居ますが全て進学と言う北海道屈指の進学校です、スポーツも盛んで「文武両道」という学校のスローガンそのものです。今回は開始時刻を夕刻近くにして見ました、会場で多いに交流を深め、中締め後は池袋の夜をお楽しみ下さい。東京を訪ねても2回目で寛永寺から谷中を20名の方に散策して貰いました、後程感想も聞くことが出来ると思います。また、新しい趣向も凝らしてあります、お料理もお酒もそれなりに用意してありますので、最後まで楽しくお過ごし下さい。ありがとうございました。



乾杯 53期 渡辺由紀子さん

「東京とどの実会」57周年の集い

2007年6月16日(土)
於/ホテルメトロポリタン

第57回東京とどの実会の集いは、例年通り130名の「同窓」生が集い盛会に行われました。



38期 長谷川悦二君の音頭で校歌斉唱



ジャンケン ゲームの様子
オホーツクの特産品が当たりました

ゴルフ愛好家の皆さんへ



オホーツク会は、今年度一回目が3月26日(木)鶴舞CCで開催されました。二回目は、総会の翌週6月26日(木)やささと国際GCで、三回目は、10月16日(木)飯能GCまたは千葉CCで開催します。参加申込は、 handa@wiznet.info



司会の39期の村田由美子さんと山田照市君

57回 東京と



幹事長報告
47期
山中純一君



中締め
39期
福井春治君



とどの実会会長(左より2人目の渡辺和勇氏を囲んで



美味しい料理を沢山頂きました

編集部 後記



三寒四温とは言え、身体にはよろしくない気候の春です。北見も15℃の翌日は5℃と戸惑う毎日の様子です。北見にも桜があります、過ぎた頃を思い出してください。また、「皆さんの名所」がありましたらお知らせ下さい、写真を搜して掲載させていただきます、同窓の反応を楽しみに。

お便りコーナー



我が母校の栄誉

昭和30年春の選抜 高校野球大会出場

22期 西川幸男

昭和30年春の選抜高校野球大会（甲子園）に母校北見北斗が出場の栄光を得たことを記憶に止めている方々もわずかなりました。初戦に強豪平安高校に2対4にて敗れたとはいえその善戦健闘振りは、小生の脳裡から消え去ることができぬ大事と思っています。当時のメンバーを思い出してみますと（横山保・村田勉・山寺敏博・那須幸一郎・石原征記・石沢誠二・梅原将司・田口昭一 以上3年生 古屋幸伯・高橋俊夫・門脇仁・中川絃一・池田鉄也 一以上2年生 そしてもう一人、林君という新1年生もベンチに入っていました）以上の14名にて名門平安高校にチャレンジしたのでした。あれから50有余年、当時のメンバーは今何処、とどの実会名簿にて消息をたどってみました。

山寺氏・田口氏・中川氏はすでに死亡していました、その生死は分かりませんが、他の方々は住所が記載されていますのでご健在が想像されます。一枚は甲子園大会入場式、他の一枚は甲子園出場高校歓迎会。右から諏訪先生・中川・梅原・高橋・池田・古屋・那須・田口・山寺・石原・林・門脇・横山・石沢・川井監督・村田です。実はこの写真小生の友人高橋俊夫が所持していたのですが、この三月高橋が急死したため彼の奥方より私に託されたものです。我が母校の栄誉をふりかえる意味でもこの写真を会報に載せて頂きたいと思い一筆認めました。



27期生合同同期会の集い

27期 宮井国夫

麗しの乙女、紅顔の美少年も卒業して55年も過ぎると、少々くたびれて来ましたが、齢74歳、これを最後の集いとして、19年9月下旬、温根湯大江本家に100余名が集まり、元氣さを確認しました。

昭和21年4月、着る物、食べる物もない頃、勉強に燃えて、北見中学校、北見女学校に入学し、昭和25年、進駐軍の教育改革で学区制になり、北見市の西半分と留辺岬方面は北斗高校へ、東半分と美幌、置戸方面は柏陽高校へと分かれて卒業した生徒で、同じ学校に6年間通学した最後の学生となりました。

卒業後も節目の集いは一緒にやって参りました。両校450名中、100名もの友が鬼籍に入りましたが、今回、東京以西から25名も参加し、昔話に華が咲き、更なる友情を温めて参りました。皆、元氣だったので2、3年経ったら、誰かがまた集まろうと言ひ出しそうです。



記念石碑を建立

27期 ラクビー部4期生 宮井国夫

皆様に応援していただいたラクビー部は、昭和22年創部以来60周年を迎え、8月中旬、記念式典が盛大に行われました。

昭和21年予科練帰りの若者がボールを蹴っているのを見て、俺たちもやろうと坂井敏夫先生が認めて創部、平野貞先生、営林局勤務の工藤茂男（明大卒）さんの指導で、初代主将渡辺賢二さんで始まりました。

以来60年間、歴代先生、監督の熱心な指導と、部員の皆さんが猛練習に耐えて頑張り、輝かしい戦績と、素晴らしい伝統を継承して参りました。

60周年を記念して、OB会では、写真のとおり、校門を入ったすぐ左に記念石碑を建立しました。全国制覇は果たせませんでしたでしたが、全国大会優勝4回と34回の出場、北海道に北見北斗高校ありと名を馳せました。

卒業生の皆様には、応援は勿論、冬のグラウンドの雪踏みや、遠征資金の支援などでお世話になったことに心から感謝申し上げます。ラクビー部も70年、100年に向けて健闘することです。



春の主演、サクラが管内各地で見ごろを迎えています。「春・桜・見どころ」を紹介します。あすは花見に出かけてみませんか。



北見市緑ヶ丘通

47期 長野久絵

さて、今年の新年会の折、冗談のように話をしておりましたが、この度結婚をいたしました。9月16日に故郷北見市にて身内と地元友人達とでささやかながら結婚式も挙げました。

相手は48期の伊藤彰規です

60期 小野澤哲也

日頃よりお世話になっております。会費等の請求（支払をしていない状況）宜しくお願ひします。御会の御発展のため、微力ではありますが、何らかの協力ができれば、と日頃から思っています。所用に



（真ん中 吉見氏）

廻っており、北見紋別のオホーツクとつかりセンターもその一つです。

より参加できませんが、御会の今後の御発展を心より望んでおります。

50期 鎌田猛

50期は10年に一度の同期会が恒例です。昨年9月に約10年ぶりに同期会がありました。夕方始まった宴会は延々と続き、お開きになったのは2時半でした。大学教員の私は、よく学生たちが旅行やスキーで明け方まで話し込んでいる気持ちが少し理解できました。

20期 廣崎芳次

三期の吉見さんにはイルカやアザラシなど海産哺乳類専用の世界で類のない粉ミルクを30年ほど前につくっていただき、今でも全国の水族館や動物園で重用しています、おかげさまでたくさんの方が助かりました、有難うございました。私は江ノ島水族館を勇退し、全国の海の生きものが大いに繁殖できる海の環境保

全にとび

廻っており、北見紋別のオ

ホーツクとつかり

センターもその一

つです。

22期 黒田秀方

第36回黒田秀方油絵展 11月26日（月）～12月1日（土） 文芸春秋画廊 銀座515112



（北辺の風景を心象的に）

46期 福井尚登

誠に残念ながら社用で参加できません。1週間後の6月24日、サロマ湖ウルトラマラソン（100km）を走ります。合併したのでゴール地は北見市常呂町となります。今年も制限時間内（13h）完走を目指します。



上とろ金刀比羅山さくら公園

37期 杉本勝征

北見市南仲町で生まれ育ち、川東の山と観音山（信善光寺）をみて、四季を感じていました。平成17年晩秋に池北線で訓子府まで往復してみましたが、上常呂方面からみる北見の街は、少年のときの記憶とは全く異なり、こんなに平

48期 渡辺則子

事務局の皆様には毎度お世話になっております。集いにはなかなか参加する事はできませんが、1度は参加してみたいと思っておりますのでその時はよろしくお願いいたします。



北見市小町川桜堤

15期 鈴木領之

同期の高野、大井、中島君夫々調子が悪い様です、小生仕事の都合で参加出来ません、悪しからずお許し下さい。ご多忙の所とどの実会御手数をお掛け致します。何卒宜しくお願ひ申し上げます。寸志お送り致しますので御受取下さ

38期 菅野博子

「60才青春」をかがけ奮闘します。4/22投票の鴻巣市議選で4選を果たしました。「地方自治体を福祉の拠点に」をかがけ高齢化社会を支えます。



端野町協和さくらの森公園

北見市石北大通



北見市南丘森林公園